

令和8年度 学校評議員会 学校長挨拶

皆様、本日はご多忙の中、本校の学校評議員会に足をお運びくださり、誠にありがとうございます。また、日頃から本校の教育活動に対し、多大なるご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、現在の社会は、生成 AI をはじめとするテクノロジーの急速な進化により、「AI と共存していく未来」がすぐそこまで迫っています。このような激動の時代を生き抜く子どもたちを育てるため、学校教育も大きな転換期を迎えております。本校におきましても、これまでの教育スタイルにとどまることなく、「授業改善」に努めているところです。その一環として、「授業改善プロジェクトチーム」を昨年度末に発展的に解消し、新たに意欲ある教員による公募制で再出発いたしました。これにより、生徒一人ひとりの興味・関心や習熟度に応じた「個別最適な学び」と、多様な仲間と協働しながら課題を解決していく「協働的な学び」をさらに充実させ、主体的に学ぶ力を養うべく全校を挙げて取り組んでおります。これらを実現するため、本校では従来の校内研修に加え、今年度は県教育研修センターの希望研修にのべ6名の参加希望がありました。また、お手元の資料の最終頁にございますとおり、今年度から新たに「独立行政法人教職員支援機構（NITS）」と提携を結んだことにより、NITS

の希望研修にも2名が参加予定です。教員自らが常に学びをアップデートし、日々の授業実践へと還元しております。また昨年度より、日本語を全く解しない外国籍の生徒も入学しております。現在、茨城県におきましては、大井川知事が先頭に立ち、未来を支える「外国『人財』」の受け入れや支援に大変積極的に取り組まれており、今後さらにこの動きは加速していくことが予想され、課題の一つとなっております。

一方で、生徒たちの高い進路意識や学習意欲に応える取り組みも進化しております。その一つが「茨大プロジェクト」です。現在の3年生には、午前部・午後部の各クラスに茨城大学への進学希望者がおり、1・2年生にもそれに続く生徒がおります。現在は進路指導主事を中心に、茨城大学見学会や小論文講座などを企画し、合格を目指して一体となって取り組んでいる所です。私は、本校で国公立大学への進学実績をしっかりと積み上げていくことで、まさにこうした「潜在的な学力は高いものの、多様な事情で全日制を選択しなかった生徒たち」の確固たる受け皿になり得ると確信しております。最先端の研究都市である「つくば市」を隣接地域に抱える本校だからこそ、果たすべき教育的使命がここにあると考えております。

こうした学習面での頑張りに加え、部活動における生徒たちの活躍にも目覚ましいものがあります。昨年度は野球部が29年ぶりに甲子園を目指して県大会に出場し、大きな感動を呼びましたが、今年度もその勢いは衰えておりません。三味線部が2年連続で全国高等学校総合文化祭への出場を決めたほか、卓球部、陸上部、柔道部、剣道部が全国大会への出場を果たしております。運動部・文化部を問わず、生徒たちがそれぞれの舞台でひたむきに努力し、快挙を成し遂げてくれていることは、学校全体の大きな誇りであります。本校は、教職員も生徒も共に学び、成長しながら、それぞれの夢に向かって羽ばたける学校でありたいと考えております。

委員の皆様方におかれましては、本日も本校の取り組みをご覧いただき、忌憚のないご意見やご提言を賜りますようお願い申し上げます。皆様からの知見をいただきながら、地域に愛され、信頼される学校づくりをさらに進めてまいります。簡単ではございますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。